安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	44-5655-4	**版**	2.02
発行日	2025/10/03	**前発行日**	2024/10/02

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ フッキット™ フレックス フォームディスク P400-P2000

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
研磨材製品

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	ｵｰﾄ･ｱﾌﾀｰﾏｰｹｯﾄ 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類
有害とは分類されない。

GHSラベル要素
注意喚起語
適用しない。

シンボル
適用しない。

ピクトグラム
適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
バッキング	営業秘密	20 - 90
酸化アルミニウム	1344-28-1	5 - 15
ポリマー	営業秘密	1 - 5
ステアリン酸亜鉛	557-05-1	< 5
トリメチロールプロパン トリアクリラート	15625-89-5	2.4
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	25068-38-6	1.6
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	0.23
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	89452-37-9	0.10
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	71449-78-0	0.10

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。症状が発現した場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。懸念がある場合は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項
適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
切削、研磨、加工により発生するダストの吸入を避ける。

保管
適用しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m3;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m3	
アルミニウムとその不溶性化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA（吸入性分画）：1mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA（吸入粒子）:10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入性粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA（吸入性粒子）:3 mg/m3	

酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA (提案)(8 時間):0.3 mg/m3	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
トリメチロールプロパン トリアクリラート	15625-89-5	AIHA	TWA：1 mg/m3	皮膚
トリメチロールプロパン トリアクリラート	15625-89-5	JSOH OELs	限界値は未設定	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
クラス１及び２以外の有機及び無機粉塵、総粉塵	557-05-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) （８時間）:8 mg/m3；TWA（吸入性粉じんとして） （８時間）:2 mg/m3	
不活性あるいは有害なダスト	557-05-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入粒子	557-05-1	ACGIH	TWA（吸入粒子）:10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入性粒子	557-05-1	ACGIH	TWA（吸入性粒子）:3 mg/m3	
ステアリン酸塩類	557-05-1	ACGIH	TWA(吸入性分画):3 mg/m3;TWA(吸入性分画):10 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
アンチモン化合物、スチビンを除く	71449-78-0	JSOH OELs	TWA（アンチモンとして）（８時間）：0.1 mg/m3	
CAS NO M~SB~C	71449-78-0	ACGIH	TWA（アンチモンとして）：0.5 mg/m3	
アンチモン化合物、スチビンを除く	89452-37-9	JSOH OELs	TWA（アンチモンとして）（８時間）：0.1 mg/m3	
CAS NO M~SB~C	89452-37-9	ACGIH	TWA（アンチモンとして）：0.5 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
研磨・研削・切削加工のために適切な局所排気装置を準備・提供する。

保護具

眼の保護具

顔と眼の損傷リスクを最小にするために、研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。

皮膚及び身体の保護具
粉塵に接触又は研磨材に接触して起こる皮膚の損傷リスクを最小にするために適切な手袋を着用する。

呼吸用保護具

加工する全材料のばく露濃度を評価すること。呼吸保護具を選択する場合は、研磨される材料を考慮すること。過度の吸入ばく露を避けるため、適切な保護マスクを選択して使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
色	青色，茶色，緑色
臭い	無臭
臭いの閾値	*適用しない*
ｐＨ	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*適用しない*
引火点	*適用しない*
蒸発速度	*適用しない*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*適用しない*
燃焼点（上限）	*適用しない*
蒸気圧	*データはない。*
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	*データはない。*
比重	*適用しない*
溶解度	*適用しない*
溶解度（水以外）	*適用しない*
n-オクタノール/水分配係数	*適用しない*
発火点	*適用しない*
分解温度	*適用しない*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	*データはない。*

(JIS－GHSの要求項目ではない)	
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
知見はない。

混触危険物質
知見はない。

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
研磨粒子による粉じんは呼吸器を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、かすれ声、鼻・喉の痛みなど。

皮膚に付着した場合
機械的な皮膚刺激：　創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
機械的な眼刺激：疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。

飲み込んだ場合
人体への健康影響は考えられない。

追加情報
本製品を使用方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。　このＳＤＳは3M製品のみを対象とします。危険有害性の程度を決める場合、完全な評価をするためには、研磨される材料についても考慮する必要があります。　　本製品は二酸化チタンを含有する。高濃度の二酸化チタンを吸入したラットでは、肺がんが観察されているが、本製品の通常の使用状況では、二酸化チタンの吸入ばく露は予想されない。二酸化チタンを含有する類似製品で行った使用時空気サンプリングでは、二酸化チタンは検出されなかった。したがって、本製品での二酸化チタンによる健康被害は想定されない。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
トリメチロールプロパン トリアクリラート	皮膚	ウサギ	LD50　5,170 mg/kg
トリメチロールプロパン トリアクリラート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂）	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂）	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
ステアリン酸亜鉛	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ステアリン酸亜鉛	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 50 mg/l
ステアリン酸亜鉛	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	経口摂取	ラット	LD50　>300, <2000 mg/kg
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	経口摂取	類似化合物	LD50 推定値 300 - 2,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	ウサギ	軽度の刺激
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	ウサギ	軽度の刺激
ステアリン酸亜鉛	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	ウサギ	刺激性なし
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	ウサギ	腐食性
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	ウサギ	中程度の刺激
ステアリン酸亜鉛	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	ウサギ	軽度の刺激
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
トリメチロールプロパン トリアクリラート	モルモット	感作性あり
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	ヒト及び動物	感作性あり
ステアリン酸亜鉛	ヒト	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	モルモット	感作性あり
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果

酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	In vivo	変異原性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	In vivo	変異原性なし
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ステアリン酸亜鉛	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	In vivo	変異原性なし
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（V）	In vivo	変異原性なし
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（V）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
トリメチロールプロパン トリアクリラート	皮膚	マウス	発がん性
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールA型エポキシ樹脂）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トリメチロールプロパン トリアクリラート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
トリメチロールプロパン トリアクリラート	皮膚	免疫システム	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	マウス	NOAEL 50 mg/kg/day	16 日
トリメチロールプロパン トリアクリラート	皮膚	心臓 | 造血器系 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12 mg/kg/day	28 週
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	経口摂取	聴覚系 | 心臓 | 内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 眼 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
ステアリン酸亜鉛	経口摂取	心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム	1344-28-1	該当なし	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
ステアリン酸亜鉛	557-05-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
ステアリン酸亜鉛	557-05-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ミジンコ	推定値	48 時間	LC50	1.8 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエ	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>11 mg/l

ピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)						
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.3 mg/l
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	89452-37-9	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	0.044 mg/l
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	89452-37-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.68 mg/l
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	89452-37-9	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.007 mg/l
ジフェニル	71449-78-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.01 mg/l

［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）						
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	71449-78-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.25 mg/l
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	71449-78-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.002 mg/l
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
トリメチロールプロパントリアクリラート	15625-89-5	液状化	実験	30 分	EC20	625 mg/l
トリメチロールプロパントリアクリラート	15625-89-5	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	14.5 mg/l
トリメチロールプロパントリアクリラート	15625-89-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	19.9 mg/l
トリメチロールプロパントリアクリラ	15625-89-5	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	0.87 mg/l

ート						
トリメチロールプロパントリアクリラート	15625-89-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	1.9 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ステアリン酸亜鉛	557-05-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	14.6 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 加水分解		加水分解性半減期	117 時間 (t 1/2)	
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	89452-37-9	推定値 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	37.9 CO2発生量/理論CO2発生量 (10-day windowの基準を満たさない)	EC C.5 BOD
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（V）	71449-78-0	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
酸化チタン(IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリメチロー	15625-89-5	実験 生分解	28 日	二酸化炭素の	82-90 CO2発	OECD 301B - 修正シ

ルプロパントリアクリラート		性		発生	生量/理論CO2発生量%	ュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ステアリン酸亜鉛	557-05-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.64	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー(ビスフェノールA型エポキシ樹脂)	25068-38-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.242	
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	89452-37-9	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	≤4.09	
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	71449-78-0	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.426	
酸化チタン(Ⅳ)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	
トリメチロールプロパントリアクリラート	15625-89-5	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.35	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達　基発第３１２号の３の別添１「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
消防法：指定可燃物（合成樹脂類、その他のもの）
本製品は下表の毒物及び劇物取締法の情報が表示されている物質を含むが、毒物及び劇物取締法の製剤には該当しない。

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
4,4'-イソプロピリデンジフェノールエピクロルヒドリンポリマー（ビスフェノールＡ型エポキシ樹脂）	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)	該当	該当	該当
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	アンチモ及びその化合物（三酸化二アンチモンを除く。）	該当	該当	該当
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	アンチモン及びその化合物（三酸化二アンチモンを除く。）	該当	該当	該当
酸化チタン(Ⅳ)	酸化チタン(Ⅳ)	該当	該当	該当

トリメチロールプロパン トリアクリラート	1,1,1-トリメチロールプロパン トリアクリル酸エステル	該当	該当	該当

毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
(スルファンジイルジ-4,1-フェニレン)ビス(ジフェニルスルホニウム)=ビス[ヘキサフルオロアンチモナート(1-)]	アンチモン化合物及びこれを含有する製剤。ただし、次に掲げるものを除く。イ　4-アセトキシフェニルジメチルスルホニウム＝ヘキサフルオロアンチモネート及びこれを含有する製剤、ロ　アンチモン酸ナトリウム及びこれを含有する製剤、ハ　酸化アンチモン(III)を含有する製剤、ニ　酸化アンチモン(V)及びこれを含有する製剤、ホ　四酸化二アンチモン及びこれを含有する製剤、ヘ　トリス(ジペンチルジチオカルバマト-κ(2)S,S')アンチモン5%以下を含有する製剤、ト　硫化アンチモン及びこれを含有する製剤	劇物
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	アンチモン化合物及びこれを含有する製剤	劇物
ジフェニル［４－（フェニルチオ）フェニル］スルホニウム・ヘキサフルオロスチビナート（Ｖ）	アンチモン化合物及びこれを含有する製剤。ただし、次に掲げるものを除く。イ　4-アセトキシフェニルジメチルスルホニウム＝ヘキサフルオロアンチモネート及びこれを含有する製剤、ロ　アンチモン酸ナトリウム及びこれを含有する製剤、ハ　酸化アンチモン(III)を含有する製剤、ニ　酸化アンチモン(V)及びこれを含有する製剤、ホ　四酸化二アンチモン及びこれを含有する製剤、ヘ　トリス(ジペンチルジチオカルバマト-κ(2)S,S')アンチモン5%以下を含有する製剤、ト　硫化アンチモン及びこれを含有する製剤	劇物

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本

国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。